

「赤い羽根」を通じた社会貢献活動のご紹介



赤い羽根
福祉基金

× 盛和塾

赤い羽根福祉基金

「盛和塾 社会人定着応援プログラム」 お礼とご報告

「赤い羽根」は、3つの方法で「地域」を支えています。
 全国すべての都道府県・市区町村で困りごとを解決している「赤い羽根共同募金」
 わが国の制度の狭間にある課題を、広域的、先駆的な取り組みにより解決する「赤い羽根福祉基金」
 そして、「赤い羽根」による災害時の支援として、毎年の赤い羽根共同募金の積み立てから緊急支援する「災害等準備金」、災害ボランティアの活動を支える「支援金（ボラサポ）」、被災した世帯へのお見舞い金を給付する「義援金」の実施という、「地域」「広域」「災害」をテーマに、国内のあらゆる地域を支えています。
 「赤い羽根」はこの取り組みを生かして会社や団体、個人の皆さんの社会貢献活動をお手伝いできます。ぜひ中央共同募金会にご相談ください。

◆ 地域と赤い羽根

赤い羽根共同募金	赤い羽根福祉基金	災害時の共同募金の働き
 <p>助成総額 155.3 億円 (平成29年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 47 都道府県の共同募金会が運営 ● 地域の多様な福祉課題解決に取り組む、毎年全国 5 万件の民間団体へ助成 <p>《取り組み事例ご紹介》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームレス自立支援市川ガンバの会 生活困窮家庭を応援する学習支援 がんばる塾（千葉県市川市） ● 生活困窮家庭の子どもたちが家庭環境の問題等で諦めることなく、将来に夢を持てるよう学習支援を行いました。ボランティア講師による不登校、学習の遅れなどレベルに合わせた学習の場を提供しました。 	 <p>助成総額 1.7 億円 (平成30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中央共同募金会が運営 ● 公的制度では対応できない課題の解決をめざし、全国的・先駆的な取り組みを行う民間団体へ助成 <p>《取り組み事例ご紹介》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般社団法人食支援活動協力会（東京都世田谷区） *子ども食堂の取り組みを地域に定着、継続させるために、地域の関係者を巻き込む全国ツアーを開催し、各地での継続的な子ども食堂のネットワーク支援を行いました。さらに、子ども食堂の運営ノウハウなどを紹介したテキストの作成・配布をしました。 	 <p>ボラサポ（東日本大震災・熊本地震） 助成総額 46.5 億円</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 災害等準備金による緊急支援（災害ボランティアセンターの設置など） ② 支援金（ボラサポ）の実施（災害ボランティア活動支援） ③ 災害義援金（被災者へのお見舞金） <p>《熊本地震災害支援金「ボラサポ・九州」による取り組み事例ご紹介》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がんばるばい！熊本会！（熊本市西区） ● 熊本地震被災者のため、食材を避難所まで輸送し炊き出しを実施しました。ボランティア活動を行ったスタッフ全員が今回の震災で被災しているなかでの支援活動でしたが、家もなくした被災者の方々に少しでも笑顔を取り戻して欲しいという強い思いで炊き出しを行いました。 

ごあいさつ

- 中央共同募金会では、2018 年度より、盛和塾塾生の皆さまからのご寄付を財源として、「赤い羽根福祉基金 盛和塾社会人定着応援プログラム」を創設しました。
- 盛和塾塾長である稲盛和夫氏は、「社会的養護(*)が必要な子どもたちの真の幸せ」をめざして、これまで、児童養護施設の設立や、稲盛福祉財団による支援など、子どもたちの自立と幸福のために、多岐にわたる社会活動に取り組まれてきました。
- この想いを受け、本プログラムは、児童養護施設の退所者が、自らの未来に希望を抱きつつ、社会人として生きがいを感じながら生活していけるよう支援を行うことを目的に設置されました。
- 児童養護施設の退所者の多くは、親からの支援を受けられず、未成年で自立することが求められます。そんななか、自分の夢を実現するため、高校卒業後に大学（短期大学、専門学校も含む）に進学して、自活しながら勉強を続ける退所者は、高卒者の約 25% に留まります(**)。
- そこで、「社会人定着応援プログラム」の初年度である 2018 年度は、高校卒業後の進学者が、就職活動の時期に十分にアルバイトができなかったり、就職活動に必要なスーツや靴の購入費、旅費を捻出することが困難な状況があることに着目して、その費用を応援する「就職活動応援助成」事業を立ち上げ、助成を実施しました。
- なお、2019 年度は、進学者の学業支援に関する助成事業も新設する検討を行っています。
- このような多額の助成を行うことができたのも、ひとえに稲盛和夫氏ならびに塾生の皆さまのご理解の賜物です。どんな環境にあっても、等しく自分の未来のためにチャレンジしていくことができる仕組みづくりにご協力いただき、心から感謝申し上げます。

(*) 社会的養護: 保護者のいない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行う事（厚生労働省HPより）。
 (**) 平成 28 年度児童養護施設入所児童の進路に関する調査 報告書（全国児童養護施設協議会）による。

◆ 赤い羽根に対するご寄付には、税制上の優遇措置があります。法人税の特別損金算入、所得税の所得控除あるいは寄附金税額控除が受けられます。また、ご遺贈、遺産のご寄付の際の相続税の非課税の措置があります。

赤い羽根に対するご寄付には、感謝状を発行いたします。(*)
 中央共同募金会は、数少ない褒章制度の対象団体です。(*) (*) 贈呈・褒章には基準があります。

◆ お問い合わせ先
 社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5 階
 TEL:03-3581-3846 / FAX:03-3581-5755 Eメール kikin@c.akaihane.or.jp

赤い羽根福祉基金「盛和塾 社会人定着応援プログラム」ご紹介

*就職活動応援助成 < 給付型助成 >

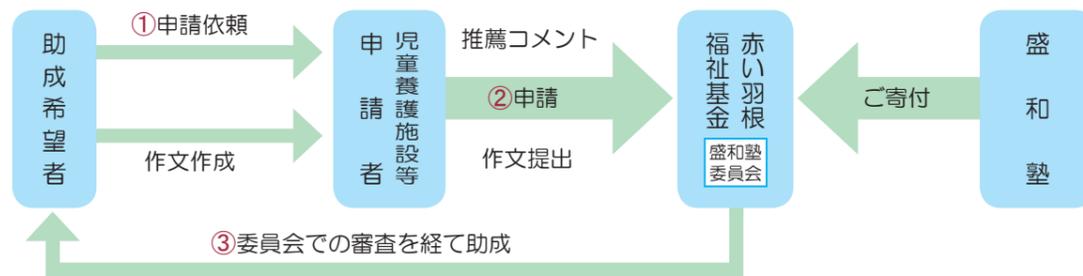
児童養護施設を退所して進学した者の在学中の就職活動時にかかる費用として、一人あたり10万円を助成します。

【助成対象の費用例】

- 就職活動時の生活費
- 就職活動に必要なスーツや靴、鞆等購入費
- 就職活動に要する旅費
- 就職に必要とされる資格取得費 等

◆ 就職活動応援助成のながれ

- ① 助成を希望する者は、かつて自分が在籍していた児童養護施設等に申請の依頼をします。
- ② 助成を受ける際には、児童養護施設等申請者から申請書ならびに推薦のコメントと、助成対象者の記した「どんな社会人になりたいか」の作文を赤い羽根福祉基金に提出いただきます。
- ③ 赤い羽根福祉基金に設置された「盛和塾委員会」の審査により助成決定されます。



- ◆ 2018年度は「就職活動応援助成」として63名の方に給付型助成を実施しました。2019年度は「就職活動応援助成」を継続して実施するとともに、進学者の学業の支援に関する助成プログラムも新たに設置する検討を行っています。

助成対象者からのお礼のお手紙ご紹介

- 助成を受けた皆さんから、盛和塾ならびに塾生の皆さまに対して、この助成に係るご寄付に関するメッセージをいただきました。

拝啓 盛夏の候、盛和塾の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。
 先日は、申請しておりました盛和塾就職活動応援助成金の給付決定を下され誠にありがとうございます。助成金を頂くことにより、就職活動を円滑に進めることが出来ると感じております。
 現在私は、保育学科のある短期大学の二年生であり、これから就職活動が始まり忙しくなりますが、学校や施設の職員の方々と相談しながら一生懸命活動していきます。そして、皆様の気持ちを忘れずに残り少ない大学生活を感謝して、過ごしていきたいと考えております。頂きました助成金は大切に、また有効に就職活動の際に使わせていただきます。 敬具
 (女性・北海道・短大2年)

ご支援いただき、誠にありがとうございます。とても助かりました。
 この恩を忘れず、夢の実現へと繋げていきたいと考えます。
 稲盛和夫さんの、能力よりも思考や熱意が大事なこと、生きていく上で大事なのは善き心であるという考え方やいきかたはとても素晴らしく、尊敬します。どんな困難なことにぶつかっても、このことを思い出し、乗り越えてゆきたいと思えます。施設から大学に行くことは困難なことですが、ここまで来れた(卒業まで)ことは周りの支援があったためです。感謝を忘れずに頑張っていきたいと思えます。
 日本を支える経営者方からのご支援を頂くことが出来、とても嬉しく思います。今後ともよろしくお願ひ致します。
 (女性・東京都・大学4年)

この度は、就職活動応援金をくださり、ありがとうございました。
 私は現在、就職活動真っ最中で忙しく過ごしております。就職活動は想像以上に難しく、落ちこんでしまいそうになることもございますが、自分の夢をかなえるためにも、応援して下さる方々のためにも、一生懸命頑張っていきたいと思えます。
 就職活動のために、交通費がたくさんかかったので、応援金を頂けて本当に助かっております。ありがとうございました。
 (女性・大阪府・専門学校2年)

2018年度赤い羽根福祉基金「盛和塾 社会人定着応援プログラム」【就職活動応援助成】実施報告

◆ 助成を受けた対象者からのアンケートより

- 「就職活動応援助成」の助成を受けた皆さんから、助成使途の報告として、就職活動終了後にいただいたアンケートの回答と、お礼状から一部をご紹介します。

助成金は主にどのような費用に使いましたか？

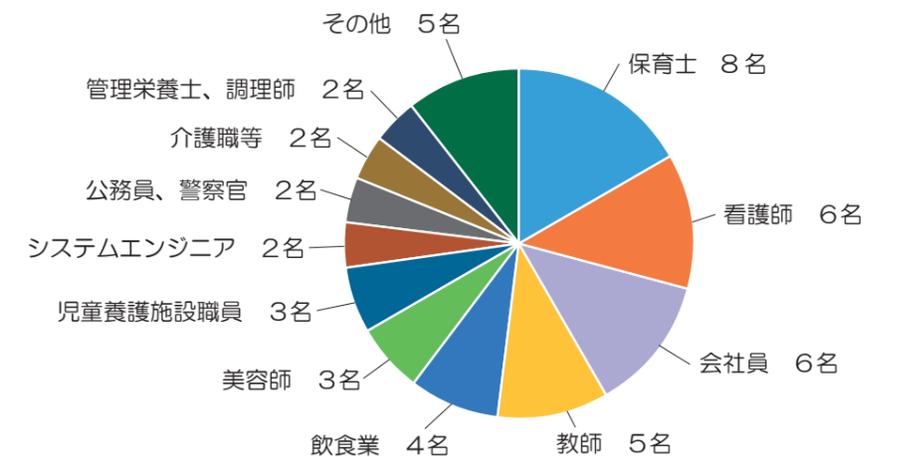
- 就職活動のためにアルバイトを減らしたため、1ヶ月分の家賃と食費
面接、説明会の際の都心までの往復交通費 (女性・東京都・大学4年)
- 就職活動期の家賃(6月分5万円、7月分5万円) (男性・神戸市・専門学校2年)
- スーツ1着3万円、パンプス9,000円、バッグ7,000円 (女性・岡山県・看護専門学校3年)

施設を出て自活してきたなかで、いちばん困難だと感じたことはどんなことですか？

- 全て自分一人で取り組まなければいけないこと。
契約(家、ケータイなど)
また、経済面での厳しさ (女性・東京都・大学4年)

◆ 助成決定者の「なりたい職業」

助成対象者本人の作文から分析した「なりたい職業」は右記のとおりです。
 (具体的な職業について作文で言及のある48名についてのまとめ)



※その他：ドッグトレーナー、ゲームプログラマー、ダイビングインストラクター、スポーツインストラクター、声優